

.....

うきたむ考古通信

.....

2018年9月号

■発行者	うきたむ考古の会
事務局	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内
	〒992-0302 山形県東置賜郡高畠町安久津2117
	電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

考古の会共催事業報告

みる・きく・ふれる遺跡の旅23 「茨城中南部をめぐる旅」

6月30日(土)・7月1日(日)開催

●今年度の遺跡の旅は昨年に引き続き茨城県の中南部の遺跡や史跡・博物館を巡る旅となりました。初日の30日は山形駅を5時過ぎ、山形県庁を5時30分、資料館を6時50分に出発しました。東北中央自動車道、東北自動車道、磐越自動車道、常磐自動車道のPAで案内して下さる瓦吹先生と合流し、常磐道を南下、北関東自動車道、東関東自動車道経由で鹿島神宮へ。神宮内の一休で昼食後、参拝。

宝物館工事中につき、美浦村の陸平貝塚へ。美浦村文化財センターの馬場係長さんに案内していただき、センター内の展示と遺跡を回りました。学史上名高い有名な出土品や同村出土の遺物を見せて頂きました。その後、時間的な余裕がありましたので予定になかった土浦市立博物館へ。小田氏に関連する展示や幕藩期の土屋氏の城となった亀城も見学しました。

二日目も厳しい暑さの中での見学が続きました。まずは、土浦市の上高津貝塚ふるさと歴史の広場へ。早い時間でしたが貝塚の剥ぎ取り展示館を開けていただきました。ヤマトシジミを中心とする貝層の堆積状況を見せていただいた後、貝層のある場所、竪穴住居、墓域、掘立柱建物跡や製塩に関連する焼土遺構など整備の終わった展示施設を見て回りました。その後、非常にわかりやすい展示となっている考古資料館を案内していただきました。

その後、つくば市に戻って、史跡平沢官衙跡へ。正倉群の位置と規模を示す展示を見た後、復元された三通りの正倉を見学しました。校倉造りの倉の内部に入れていただきその構造を模型で示していただきました。温湿度の変化が少ないという内部は外の暑さを凌ぐことができ、床下を吹き抜ける風の心地よさを満喫しました。

つぎに、史跡小田城跡へ。先々週、NHKの歴史秘話ヒストリアで放映されたばかりのタイムリーな城跡とガイダンス施設で詳しい説明を受けました。綺麗に復元整備された見事な中世城館でした。昼食後、石岡市の舟塚山古墳へ。道すがら、国府から防人の任につく兵を送り出した高浜神社の説明を受けました。舟塚山古墳は全長186mと東国では二番目の大きさをもつ5世紀前半の前方後円墳。全体を写真に納めることができないほどの

規模でした。

最後は常陸国府のあった小学校に建つ「ふるさと歴史館」へ。発掘調査の経過や国衙の各時期の建物配置等の説明を受けた後、出土品を見学しました。今回の遺跡の旅は梅雨明けの厳しい暑さの中でしたが、例年悩まされた降雨がなく各遺跡や施設をまわることができました。案内していただきました、瓦吹先生はじめ各市・村の担当者の皆様に厚くお礼申し上げます。予定より少し送れましたが午後7時過ぎ、無事考古資料館に到着しました。

館事業報告

♥ガラス玉をつくろう、カラムシで布をつくろう

●6月16日に開催された「ガラス玉をつくろう」には、親子連れやなど11組の参加がありました。

また、はじめて行われた「カラムシで布をつくろう」は西沼田の渡辺学芸員に指導いただき、西沼田で開発した簡易織機での布づくりを行いました。残念ながら3人の参加にとどまりました。宣伝が課題です。

♥大人の自由研究

●昨年に続き2回目の開催となりました。青苧から繊維を取る作業に21名が参加しました。12月に2回目が行われます。

♥勾玉・弓矢・石器をつくろう

●今年は夏休み前の7月14日(土)に開催しました。例年8月第1週の土曜日に開催していたのですが、2年続けて参加者が少なかったため、日程を変更したのですが、37名に留まりました。

♥スクールオブジョウモン

夏休みの1日を縄文時代人になって様々な体験をしようという企画ですが今年で3回目となりました。体験メニューに変更はなく、は開講式に続いて「石器づくり実演」、「弓矢をうって獲物をとろう」、「石器を使っていろいろなものを切ってみよう」、「火をおこそう、縄文バーベキュー」、「ドッキーをつくろう」、「今日のおさらい」、ということでしたが、今年にはさくらんぼテレビの取材があり、夕方放映されました。

👤特別テーマ展関連講座が終了しました

今年度の特別テーマ展「押出遺跡の6次調査と山形県内の縄文前期後半の世界」似合わせた夏季の講座は当館の空調設備が壊れたため、創造の館での開催となりました。

第1回 7月8日(日) 13:30~16:00

- ・「押出遺跡6次調査の成果」 水戸部秀樹氏 ((公財)山形県埋蔵文化財センター)
- ・「川内袋遺跡の調査成果」 齊籐 主税氏 ((公財)山形県埋蔵文化財センター)

第2回 7月15日(日) 13:30~16:00

- ・「高瀬山遺跡の調査成果」 齊籐 主税氏 ((公財)山形県埋蔵文化財センター)
- ・「山形県内の縄文時代前期後半の土器様相」
小林 圭一氏 ((公財)山形県埋蔵文化財センター)

第3回7月22日(日)13:30~16:00

・「山形県内の前期後半の石器製作と組成」 秦 昭繁 氏(考古学研究者)

・「山形県内の縄文時代前期後半の集落と暮らし」

菅原 哲文氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

と5名の講師陣から各テーマに沿ったお話をうかがいしました。受講者は第1回目が24名、2回目が17名、3回目が21名でした。

展覧会のご案内

👁 第26回企画展 「木は語る－古代から近世の木簡と

木製品－」

木は太古より、人々の生活と密接にかかわってきました。縄文時代の植物利用をテーマとした第24回企画展「森と暮せば－縄文人の植物利用－」、農耕が始まりその社会が成熟していく時代をテーマとした第25回企画展「木と生きる－弥生・古墳時代の木製品－」に続き、今回の第26回企画展では「木は語る－古代から近世の木簡と木製品－」と題して、複雑になってゆく社会の中でさまざまな形で利用される木の姿をご覧ください。これまでの道具としての木製品に加え、文字を記すための木簡も多数展示いたします。

第一章は「建物と井戸」とし、古代・中世の建築部材や井戸枠、井戸車などを展示します。大形の井戸枠などは、迫力満点です。

第二章は「生活と道具」としました。農耕、手仕事、器と台所の三つに大きく分けて、生業、生活に必要な木の道具を展示します。日常に使われたありふれた道具だからこそ、時代によって変わるもの、変わらないものなど、見比べていただければ、より楽しくご覧いただけるかと思えます。

第三章は「文字と祈り」として木簡や祭祀具を展示します。こちらも三部構成とし、呪符木簡や笹塔婆など祭祀にかかわる木簡と木製祭祀具、発掘された祈りの場である俵田遺跡の人面墨描土器や人形・馬形、その他文字の書き残された古代から中近世の木簡や木製品などを展示します。特に古代・中世の県内方出土したほぼすべての木簡には、年号が記載されたもの、稲の品種名が記載されたものなど重要な文字資料もあります。文字という形でじかに伝えられる歴史の迫力を感じていただければと思います。

第四章は「さまざまな木」と題して、扇や櫛など身につける木製品や、独楽、羽子板、将棋の駒など娯楽に関わるもの、茶道に関わる雅な道具などを展示します。また、古代から中近世の武具や馬具、戦国の世の緊迫感の伝わる、なまり玉や太刀などの記載のある木簡も展示します。

今回の企画展ではそれぞれの時代を感じる事の出来る木簡、木製品を多数展示いたします。複雑になっていく社会の中で多様な姿を見せる「木」を通じて、往時に思いを馳せてみてください。

館主催事業の案内

平成 30 年度 第 20 期考古学セミナー

開催要項

1. 趣 旨

企画展に関連したテーマでセミナーを行うことにより、企画展の内容への理解や展示見学への意欲を高める。

また、考古資料を通じ山形県の古代史や埋蔵文化財への理解を深める契機とする。

2. 主 催 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

3. 期 日 平成 30 年 9 月 30 日・10 月 14 日・11 月 4 日（日）

各日とも 13：30～16：00

4. 会 場 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 研修室

5. テ ー マ 『古代から近世の木簡と木製品』

6. 講義日および講師

〈第 1 回〉 9 月 30 日（日）

「古代の木製品－建築部材・祈り・文字－」 佐藤 庄一 氏（山形考古学会会長）

「大在家遺跡の木製品と文字資料」 井田 秀和 氏（元高畠町教育委員会）

〈第 2 回〉 10 月 14 日（日）

「上高田遺跡の木製品と文字資料」 齋藤 健 氏（(公財)山形県埋蔵文化財センター）

「中近世の木製品と文字資料」 高桑 登 氏（(公財)山形県埋蔵文化財センター）

〈第 3 回〉 11 月 4 日（日）

「馳上遺跡の木製品と文字資料」 渡辺 和行 氏（(公財)福島県文化振興財団）

「古志田東遺跡の木製品と文字資料」 手塚 孝 氏（米沢市教育委員会）

7. 受 講 料 全 3 回 1,500 円（1 回毎は 600 円）

8. 対 象 各日 一般 50 名程度

9. 申し込み 全日受講は 9 月 25 日（火）、部分受講は各講座直前の火曜日まで

♥秋の遺跡めぐり

10 月 28 日（日）に春に続き仙台市の遺跡や博物館をめぐるとの予定で準備を進めています。開催要項ができ次第、お送りします。

♥勾玉・弓矢・石器、古代風ブレスレットをつくろう

5 月 19 日、7 月 14 日に続き、今年 3 回目となる勾玉づくり、弓矢づくり、石器づくり、そして 6 月 23 日に続き 2 回目となる古代ブレスレットをつくろうが開催されます。

11 月 3 日（土）文化の日の開催です。家族皆さんでご参加下さい。

♥ガラス玉をつくろう

6 月 16 日（土）に続き今年 2 回目が 12 月 1 日（土）に開催されます。できるだけ多くの方

に体験していただきたいとの考えから今回も三つの時間帯を設定して開催することとして
いますので、最大 15 組までの予約を受けられます。リピーターの多い体験学習ですが、受
入数に余裕があるかと思えます。予約が必要ですが奮ってお申し込み下さい。

♥大人の自由研究

7月21日に採取した繊維から布を織ります。1回目に参加できなかった方もお待ちしております
おります。

📍企画展記念講演会

「出土文字資料と古代出羽国」

講師 山形大学人文社会科学部准教授 十川 陽一 氏

開 催 要 項

1. 趣 旨

第26回企画展「木は語るー古代から近世の木簡と木製品ー」を記念し、講演会を開
催する。

日本古代史の専門の方を講師に招いて講演をいただくことで、古代から近世の木簡
や木製品についてのより一層の理解や関心の向上に資する。

- | | |
|---------|----------------------------|
| 2. 主 催 | 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 |
| 3. 期 日 | 平成30年11月18日(日) 13:30~15:30 |
| 4. 会 場 | 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 研修室 |
| 5. 演 題 | 「出土文字資料と古代出羽国」 |
| 6. 講 師 | 山形大学人文社会科学部准教授 十川陽一氏 |
| 7. 参加費 | 500円 |
| 8. 対 象 | 一般 50名程度 |
| 9. 申し込み | 11月13日(火)まで |

📍館共催事業のご案内

📍第XⅢ期うきたむ学講座特別講座のご案内

1. 趣 旨

置賜地方の歴史解明および歴史理解の普及を広い視野から幅広く推進するため、置
賜地方の歴史等関係者および団体が相集い研修し合うことを目的とする。今年度は、
特別講座を高畠町で行い、高畠町の遺跡・文化財等の理解を深め、考察する。

2. 名 称 第XⅢ期うきたむ学講座・特別講座
 3. 主 催 うきたむ学講座実行委員会
 共催 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
 協力 高島町教育委員会
 4. 期 日 平成30年11月10日(土)
 受付開始 12:30/講座開始 13:00
 5. 会 場 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 研修室
 6. 内 容
 講 座 13:05~14:25 加藤和徳 氏(山形民俗学会)
 講座①「演題未定」
 14:25~14:50 公園内の石碑見学
 14:30~15:15 小林貴宏 氏(高島町教育委員会社会教育課文化係長)
 講座②「演題未定」
 7. 参加料金 一人600円(受講料)

東北情報館

テーマ展 『木は語るー古代から近世の木簡と木製品ー』

入館料 一般/200円 大学生/100円 高校生以下/無料
 6月9日~9月9日 うきたむ風土記の丘考古資料館 TEL: 0238-52-2585

山形県立博物館プライム企画展 「ヤマガタダイカイギュウと人魚たち - 1千万年、進化のドラマ - 」

入館料 一般/300円 大学生/150円 高校生以下/無料
 9月22日~12月2日 山形県立博物館 TEL: 023-645-1111

秋の特別展 「刀剣と甲冑~重要文化財 色々威胴丸修復記念~」

入館料 一般/700円 高大学生/380円 小中学生/無料
 9月8日~10月21日 致道博物館 TEL: 0235-22-1199



特別展 「戊辰戦争と米沢」

入館料 一般／410円 高大学生／200円 小中学生／100円
9月15日～10月14日 米沢市上杉博物館 TEL: 0238-26-8001



テーマ展示 「色麻古墳群―県北の大規模群集墳」

入館料 一般／460円 小中高／無料
7月10日～12月28日 東北歴史博物館 TEL: 022-368-0106



企画展 「戊辰戦争 150年」

入館料 一般・大学生／800円 高校生・小中学生 無料
9月1日～10月14日 福島県立博物館 TEL: 0242 (28) 6000



展 没後190年記念展 「菅江真澄、記憶のかたち」

入館料 無料
9月22日～11月4日 秋田県立博物館 TEL: 018-873-4121



特別展 「古代アンデス文明展」

入館料 一般・大学生 1,500円 (前売 1,300円)、高校生 800円 (当日券のみ)、小・中学生 600円 (当日券のみ)
7月27日～9月30日



「豪族居館 王の暮らす屋敷」

入館料 無料
8月7日～12月2日 史跡古津八幡山 弥生の丘展示館 TEL: 0250-21-4133